

連載

社会教育施設について考える (WG 報告)

～最終回：新 WG でやりたいこと～

福澄孝博 (WG 代表/札幌市青少年科学館)、生涯学習施設支援 WG

1. はじめに

これまでにも何度か触れましたように、本来「生涯学習施設支援ワーキンググループ(以下、当 WG)」は昨年度を活動の最終年度としておりました。その間、「天文教育」での本連載が、今号を含め 17 報にのぼるなど一定の成果を挙げられましたが、メンバー全員で集まる機会がなかなかなく、取りまとめと解散が先送りとなってしまいました。

この度、長野・志賀高原で開催された第 33 回天文教育研究会席上でミーティングを行い、『本年度なるべく早い段階で当 WG を終了すること、新たに WG を別途立ち上げ、より良い形で活動を継承すること』が改めて確認されました。これをもって、当 WG は(若干の取りまとめ作業の後)いったん閉鎖されます。そこで、本稿では次の WG へ引き継がれるべき課題を洗い出し、本連載のまとめしたいと思います。

2. 新 WG に引き継いで、取り組みたい課題

上記ミーティングにて、当 WG に残されたままの宿題と、新たな WG の活動方針についても短い時間ながら話し合いました。その作業の中で明らかにした、新 WG で取り組みたい課題につき、ご紹介します。

- ・施設変遷についての情報収集窓口設置
- ・休館、廃止などの『リストだけで良いから』定期的、恒久的にチェック&管理
- ・初回の調査から 5 年たったところで、施設の変遷状況再調査?
- ・「指定管理者制度の功罪」研究：まだ不十分
- ・他の団体との協同調査研究も大きな柱に据

える：我われが突っ込んだ調査にまで手を広げるといよりは、情報を取り込む方向・廃止の後にその市町村等が結局何に使ったか(場所・予算)の追跡調査：大変な調査になるのは想像に難くないが、是非押さえてほしい情報

3. おわりに

連載の終了にあたり、これまでお世話になった多くの方、特に貴重な情報を記事として投稿してくださった方がたに改めて衷心より感謝申し上げます。連載・当 WG 活動はこれにて幕を閉じますが、新たな WG により調査・研究は引き続き行っていきます。また、新たな連載開始を待たずとも、有意義な情報を得ましたら、皆さんにも「臨時記事」の形でお届けできれば、と考えております。

新たな WG での活動にご期待いただくとともに、皆さまにも情報提供や WG への参加などの形で、引き続きご協力いただければ幸いです。

長きにわたり、連載にお付き合いいただき、ご愛読ありがとうございました。また！お会いしましょう。



福澄 孝博